



敦賀市公認キャラクター
よっしー

敦賀市概要



事業実施箇所及びモデル地区等



I 景観の刷新

①観光交流センター「人道の港」交流施設整備事業

金ヶ崎周辺空撮図



大正当時の建築物を復原



整備構想の実現

建設予定地周辺



大正頃の敦賀港



③本町通り(国道8号)道路空間美装化事業



【事業概要】

- ・歩道の美装化 ・景観植栽の充実
- ・ストリートファニチャー50個程度設置



IV 景観に関するこれまでの取組状況

- 博物館通り賑わい創出プロジェクト
道路の石畳化、電線地中化、町家建築物テナントミックス事業、朝市の実施、住民によるおもてなし事業「吊るし雛」等



V 地域活性化への貢献

- 北陸新幹線敦賀開業(H34年度末)に伴う観光客の受け皿として機能させ、新幹線整備効果を最大に高める。



VI 民間による取組内容

- 民間団体「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会
・官による施設整備等に合わせた連携イベントを実施する等、ソフト面で重要な役割を果たしている団体
- ・メイン事業のイルミネーション事業では、市民総参加を目指し、市民から回収した家庭用廃油を扱い、運営はすべてボランティアスタッフ(約100人)で冬季50日間におよぶ金ヶ崎緑地でのイベントを実現
- ・夜の景観を演出し55,000人を動員



緑地一体にLED40万球を設置(北陸ランクNo.1)

II 受入観光客数の増加

- H27の映画「杉原千畝」公開、赤レンガ倉庫のオープン後、金ヶ崎周辺の観光客数が約10万人増
- 本効果を加速させ、エリア内観光客数110万人を目指す。(22万人増、24.5%増)



III 事業の実現可能性

- すでに市民の理解を得ているグランドデザイン(金ヶ崎周辺整備構想等)に沿って事業を実施するため地元住民との調整は軽微なものが多く、事業の実現可能性は極めて高い。
- 特に民間市民団体「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会が積極的に同エリア内で活動しており、すでに官民一体的な取り組みが進んでいることから、このノウハウを活かした事業の実施が可能である。